

単元	単元毎の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ふしぎ 2時間	事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを互いに発表し合い，確かなものにしている。	すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし，学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
桜蝶 5時間	事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写（特に二つの文章の描かれ方の違い）をもとに捉えている。	粘り強く二つの文章を読み比べながら，場面と描写などを結びつけて内容を解釈し，学習の見通しをもつて考えたことを伝え合おうとしている。
文法の小窓1 言葉の単位 2時間	単語の類別について理解するとともに，指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		積極的に言葉の単位について理解するとともに，見通しをもってその役割を考えようとしている。
自分の脳を知っていますか 5時間	原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において，文章の中心的部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え，要旨を把握している。 「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している	粘り強く文章の要旨を把握し，学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。
資料から得た根拠をもとに 意見文を書く 6時間	比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。	「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	すすんで情報の整理の仕方について理解し，学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながら考えたことを書こうとしている。
漢字の広場1 漢字の部首 1時間	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き，文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み，または漢字を書くとともに，今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
書写 楷書で書こう 9時間	基本点画の筆使いや文字の組み立て方，字形の整え方を的確に捉えている。 字形の整え方，筆順の原則を理解し，他の文字の筆順も的確に捉えている。 毛筆で学習したことを硬筆にも生かして書いている。	基本点画の筆使いや文字の組み立て方が，漢字のどの部分にあてはまるか判断している。 字形の整え方，筆順の原則の重要性を確認し，把握している。	基本点画を把握し，課題の解決に向け意欲的に取り組んでいる。 字形の整え方，筆順の重要性を考えて，意欲的に取り組んでいる。
日本語の音声 2時間	音声のはたらきや仕組みについて，理解を深めている。		積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し，学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
【話す聞く】 内容を整理して説明する 4時間	比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。	「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように話す内容や順番などの表現を工夫している。	粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに，学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
ベンチ 4時間	読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。 「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し，学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。

		の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	
全ては編集されている／写真で「事実」を表現する 2 時間	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。	情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。
漢字の広場 2 画数と活字の字体 1 時間	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
【書く】 材料を整理して案内文を書く 5 時間	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
持続可能な未来を創るために――人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう 3 時間	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。
森には魔法つかいがいる 5 時間	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果（特に論理の構成）について、根拠を明確にして考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。
文法の小窓 2 文の成分 4 時間	文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。		すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。
【書く】 根拠を明確にして意見文を書く 6 時間	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。
書写	伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を把握し、	紙面全体の調和を考えて、筆使いや筆脈、配列を的確	平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把

楷書と仮名を調和させて書く 10 時間	調和よく書くことを理解している。 さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して、字形を整えて書いている。 文字の変遷について理解し、書写学習の参考にしている。	に捉えている。 書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、話し合うことについての的確に判断している。	握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。 書写の学習を学校生活のさまざまな場面で生かすことができるか、意欲的に話し合おうとしている。
昔話と古典 1 時間	古典には様々な種類の作品があることを知っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。
物語の始まり 4 時間	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
故事成語 3 時間	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
蜘蛛の糸 3 時間	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。
河童と蛙 1 時間	比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
オツベルと象 7 時間	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
【書く】 随筆を書く 4 時間	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
言葉の小窓 2 日本語の文字 1 時間	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
子どもの権利 4 時間	事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
【話す聞く】 調べた内容を聞く 3 時間	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。

漢字の広場 3 漢字の音と訓 1 時間	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ 5 時間	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
【書く】 読み手を意識して報告文を整える 4 時間	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
文法の小窓 3 単語のいろいろ 3 時間	単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
書写 行書で書いてみよう 3 時間	楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴をよく理解している。 のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体をよく理解している。 これまでに学習してきた行書の特徴を把握し、硬筆で字形を整えて書くことを理解している。 これまでに学習してきた行書の特徴を理解し、硬筆で字形を整えて書いている。	楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を的確に捉えている。 のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を的確に捉えている。 これまでに学習してきた行書の特徴から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	楷書と行書の違いを理解し、行書の特徴について知ろうとしている。 のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を意欲的に知ろうとしている。 これまでに学習してきた行書の特徴を確かめて、硬筆で意欲的に取り組んでいる。
【話す聞く】 発言を結びつけて話し合う 4 時間	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている	すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
漫画で「物語」を表現する 2 時間	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。	積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。
漢字の広場 4 熟語の構成 1 時間	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
四季の詩 2 時間	比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。
少年の日の思い出	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かに	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係（特に語りと構成について）、また心情の変化な	粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを

7 時間	している。	どについて，描写をもとに捉えている。 「読むこと」において，文章を読んで理解したことに 基づいて，自分の考えを確かなものになっている。	伝えようとしている。
言葉の小窓 3 方言と共通語 1 時間	共通語と方言の果たす役割について理解している。		すすんで共通語と方言について調べ，学習の見通しを もって共通語と方言の果たす役割について理解しよ うとしている。